

なぜ融像幅の輻輳幅の測定時、視標がぼけたり、小さくなるのか？

なぜ融像幅の輻輳幅の測定時、視標がぼけたり、小さくなるのか？

パンダの考え

運動性の融像性輻輳により調節のコントロールが出来ない限界点に達した！

→輻湊を続行すると輻湊による調節(輻輳性調節)が働く

→近方にピントが合う→距離は遠方のまま

→中心窩で見ているが水晶体は調節しているのでぼやける(視線は OK)

→調節しているので近見と感じる→近見なので視標は大きくなっているはずと思う

→視標の大きさはそのまま→小さく感じる

視能矯正マニュアル P174の考え

運動性の融像性輻輳の限界点に達した！

→輻湊ができない→調節して輻湊(調節性輻輳)を助ける→近方にピントが合う

→距離は遠方のまま→中心窩で見ているが水晶体は調節しているのでぼやける

→調節しているので近見と感じる→近見なので視標は大きくなっているはずと思う

→視標の大きさはそのまま→小さく感じる



パンダは今まで輻輳性調節だと思っていましたが、
調節性輻輳なのか？輻輳性調節なのか？
卵が先か、ニワトリが先か？う～む。
互いが助け合うので分けられないと思うけど。